

公衆衛生学A

(Public Health A)

担当教員

教授 渡辺 徹志

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
薬学専門教育（講義）	2年次 後期	講義	1.5単位	必修

【概要】

公衆衛生学とは、個人あるいは共同社会の組織的な活動を通じて、疾病を予防し身体的・精神的健康を維持・増進するための科学である。本科目では、ヒト集団の問題である人口、疾病・衛生の動向、疾病予防などと有害物質に対する生体防御機構である代謝などについて学ぶ。

【授業の一般目標】

社会における集団の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握するために、保健統計、疫学、感染症、生活習慣病、職業病、化学物質の代謝、毒性評価などに関する基本的知識、理論などを習得し、これに関連する基本的技能と態度を身につける。

【準備学習(予習・復習)】

毎回、講義の予習として教科書の該当する項を読んだ上で講義に臨むこと。受講後は、教科書・プリント・ノート等を読み返し、演習問題を行い復習すること。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	保健統計	渡辺	人口静態・動態に関する指標の定義と意義、死因別死亡率の変遷などについて説明できる。	C11-(2)- -1,2,4,5 C11-(2)- -1~3
2	疾病統計、国勢調査	渡辺	疾病統計、国勢調査などについて説明できる。	C11-(2)- -3
3	疫学-1	渡辺	疫学の役割、種類などについて説明できる。	C11-(2)- -1~3
4	疫学-2	渡辺	疫学の方法の概要を説明できる。	C11-(2)- -4~7
5	疾病の予防	渡辺	疾病の予防方法、生体防御機構などについて説明できる。	C11-(3)- -1,2 C11-(3)- -1,2
6	感染症の現状	渡辺	現代における感染症の発生状況などについて説明できる。	
7	疾病の予防-1	渡辺	AIDS、結核、悪性新生物の現状などについて説明できる。	C11-(3)- -1
8	疾病の予防-2	渡辺	心疾患、脳血管疾患などの現状について説明できる。母子保健、学校保健などについて説明できる。	C11-(3)- -1 C11-(3)- -3,4
9	生活習慣病、職業病、生活安全対策	渡辺	生活習慣病、職業病の現状、原因などについて説明できる。生活安全対策などについて説明できる。	C11-(3)- -2,3 C11-(3)- -1
10	化学物質の吸収・排泄	渡辺	化学物質の吸収、代謝、排泄などの基本的なプロセスを説明できる。	C12-(1)- -1
11	化学物質の代謝-1	渡辺	第一相反応が関わる代謝、代謝的活性化などについて概説できる。	C12-(1)- -2
12	化学物質の代謝-2	渡辺	第二相反応が関わる代謝、代謝的活性化などについて概説できる。	C12-(1)- -3
13	化学物質による発がん	渡辺	発がん性物質の代謝活性化、癌遺伝子、癌抑制遺伝子、化学物質のリスクアセスメントなどについて説明できる。	C12-(1)- -1~4 C12-(1)- -1,5,6
14	化学物質の毒性	渡辺	臓器に特異的に毒性を示す化合物などについて説明できる。	C12-(1)- -2~4,7,8 C12-(1)- -1,2
15	総括・まとめ			

(書名)

教科書 考える衛生薬学 第4版(第6刷)

パザパ薬学演習シリーズ 衛生薬学

参考書 スタンダード薬学シリーズ5 健康と

環境 第2版

(著者・編者)

平山晃久 他

緒方、川崎、関、渡辺

日本薬学会 編

(発行所)

廣川書店

京都廣川書店

東京化学同人

【成績評価方法・基準】

原則として、定期試験で評価する。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

講義室及び公衆衛生学分野の研究室（S棟1階）にて、適時、質問を受け付けます。